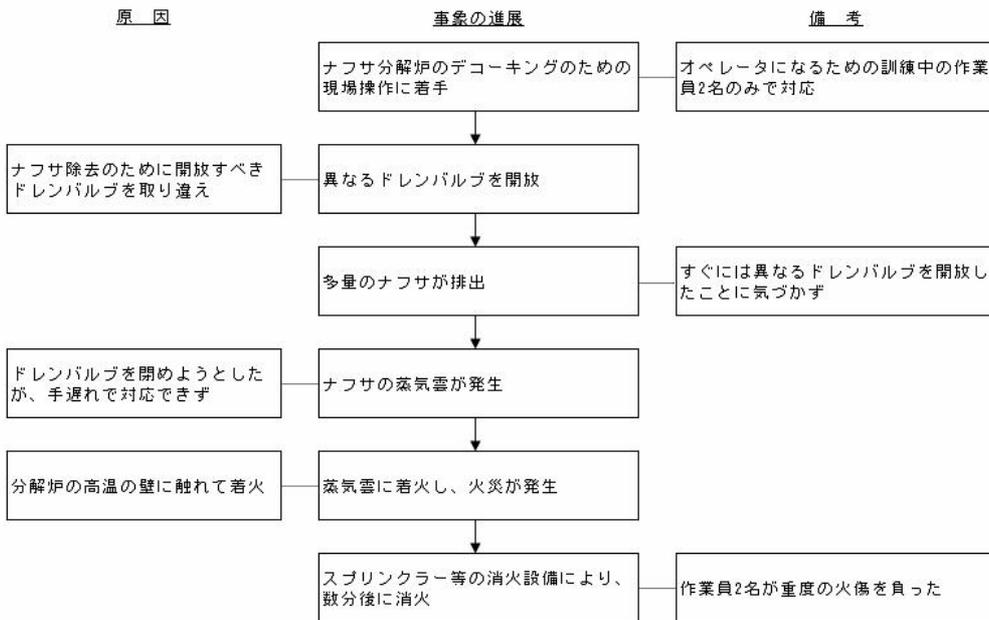




ナフサ分解装置デコーキング作業時の火災発生

事象進展図

00401	ナフサ分解装置デコーキング作業時の火災発生
発災年月日	2005年5月4日
装置	ナフサ分解装置
運転状況	装置・機器のシャットダウン中（デコーキング作業中）
特徴	デコーキング作業時のバルブ誤操作による漏洩、火災



再発防止対策
（記載なし）

安全専門家のコメント
<p>ナフサ分解炉のデコーキングのような重要な作業を「訓練中のオペレータが何の監督もなしに任務を実施していた」というのは、そのようなことを認めた会社の安全管理が疎かになっていると見られても仕方がない。一人作業でなく二人で行っていたので、相互に作業チェックしながら行えば間違えなかった筈である。単なる勘がいか、作業にマンネリになったか、間違っただけで教えられていたか分からないが、事故後本人は決められた作業以外はやってないと証言していることは何か安全管理の面で重大な問題が潜んでいると感ぜられる。</p> <p>記述がないので分からないが、操作マニュアル・手順はどうなっていたのか、現地バルブ表示はどうなっていたか気になるところである。これらの対策があれば当該事故は起こらなかったと思われる。いずれの工程でも非正常作業による事故はきわめて多い。作業にあたっては運転管理者や設備管理者が連携して、安全上の注意点を記載した設備図、作業指針の策定が求められる。</p>

引き金事象発生の原因
・開放すべきドレンバルブの取り換え

事故の引き金事象
・異なるドレンバルブの開放

事故に関係した直接・間接要因
《人的要因》訓練中の作業員の能力・経験不足 《管理・運営要因》監督なしで訓練中の作業員にデコーキングを任せていたこと



ナフサ分解装置デコーキング作業時の火災発生

添付資料・参考文献・キーワード

参考資料（文献など）

MARS Database

▶ 添付資料

▶ キーワード(> 同義語)

- 🔑 バルブ表示
- 🔑 運転標準 > 運転マニュアル
- 🔑 分解炉
- 🔑 弁 > バルブ
- 🔑 訓練
- 🔑 誤操作 > 操作ミス
- 🔑 デコーキング

▶ 関連情報